

二、そのうちに そのうちに——死ぬ時に分かれば……

皆さんもね、折角、高橋信次先生の話を聴いたので、是非、今からでも一所懸命にやってみてください。

しかし、やろうと思ってもね、「そのうちやるよ、そのうちやるよ」と言っていて、やる事が出来た例しは無いですよ。

人間というのは、やろうと思ったら、直ぐやる。しかし、遊ぶ事とか、悪い事は直ぐやっけてしまいますよね。

ところが、やっても何か損も得も無いような事は、人間は後回しにするんですね。自分の事を振り返ってみたらそうですね。遊ぶ事は、「あつ、行こう」って、サツとやる。ところが、「反省しろ」って言ったら、「今日はちよつとごめん、明日からやるよ」、明日になったら、「ちよつと用事があるから……明後日からね」(笑)と段々そうなってくるんですよ。

この前、守護霊が出て来て、何を言うのかと思ったら、

「私もそうだったけれどもね、本当にこちらから見ていると、物の中の住人というのは哀れだよ」

なんて、変な事を言うなど自分で思っただけで、本当にそうなんです。向こうからしてみれば哀れですよ。向こうは正しい世界ですからね。

やはり、そういう哀れと言われるような中で、私達は物の中を通して、一歩一歩行くと。

皆さんもね、ここにいらっしやる方は、大方はもう先が無い人ばかりですよ、悪いですけどもね……。 (笑) まあ、若い人も多少はいるけれども、もう終わりが近い人ばかりですよ。(笑) 私もそうですよ。

皆さん終わる時に、「あー、もう、どうしようか」と言っただけです。

そして終わった時には、明るくなるか、暗くなるかのどちらかですからね、それによろく覚えておいてくださいよ。

もし、暗くなったら、「あつ、これはいけない、私がちゃんとしていなかったんだ

な」と、直ぐ思うんですよ……。

「死ぬ時分かればいい」と思いますよ。確かに分かれば救われますよ。しかし死ぬ時に、瞬間的に分かるなんていうのは、そんなものは一切ありませんよ。絶対に無い。

私は亡くなった人に——自分の死んだ肉体の傍にいる人に——いろんな事を訊くことがありますが、「出来ない」と言いますよ。

「瞬間的に分かるなんて私も思っていましたけど、出来ませんでした」  
 って言いますよ。

そして、この世で今やったものは、死ぬ時に分かる為にやるんじゃないんですよ。

私達は先ず、心の世界を知らなくてはいけない。そして、心の世界の住人なんだ、心の世界の中の一才した時間帯が、今の物質の世界なんだ——ということなんです。

そうすると、死ぬという事は、一切無いということですね。

もし死んで終わりだったら、お化けもないし、私が一寸この肉体から離れて、自分の姿を観る事もないですよ。私はそう思いますね。

私はそういうものを通して、実は話をさせて貰っているんですね。

自分が永遠に生き続けていく、魂の一齣の積み重ねが、「今」なんです。今やっている事が積み重なって、どんく自分は大きなものになっていく訳ですよ。我々は、如来とか、仏さんになる訳にいかないんですよ。いかないけれども、自分自分の器の中で、精一杯成長する事は出来ると思います。